



奈良市議会だより

No.160
令和6年11月1日発行

9月定例会

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目一番一号 奈良市議会事務局 ☎(0742)34-4734

■発行／奈良市議会 ■編集／奈良市議会広報広聴委員会

奈良市初

令和5年度決算「不認定」

令和5年度の予算の執行について審議する令和6年9月定例会では、奈良市として初めて決算が不認定となりました。議会は市に対して、公平公正、適正な予算執行を求めました。

佐保小学校建て替え

12億円の追加予算案を「否決」

佐保と鼓阪の両小学校を統合し、現在の佐保小学校に新校舎を建設する事業について、市は約12億円の増額を求めましたが、議会はこの追加予算案を否決しました。

(表紙写真 上：奈良市役所 下：佐保小学校現校舎)



議案や質問内容等、市議会ホームページで更に詳しくご覧いただけます。次回の議会だより第161号は令和7年2月1日発行予定です。

奈良市議会 議会だより



多額の予算流用、経緯が不透明な随契

令和5年度一般会計決算

不認定

多額の予算流用

市は本庁舎の空調設備の交換や窓の二重化などの改修工事（ZEB化）のための設計業務委託料2714万円を当初予算で計上していました。

しかし、設計の前に診断調査が必要と請負業者から指摘を受けて調査を実施した結果、必要経費は6倍の約1億9000万円に膨らみました。国の補助金を年度内に執行するという理由から、議会のチェックを通さず配当替えや予算流用により事業を進めた点を指摘する声が相次ぎました。

事業の中止による 不要な支出約247万円

飛鳥公民館の廃止を前提とした（仮称）飛鳥地域ふれあい会館を建設する計画に対して、地元地域から反対請願が提出されるなど、地域に混乱

不透明な随意契約

を招く事態となりました。議会でも、借地の上にふれあい会館を建設することを問題視する声が挙がり、計画は撤回されることになりました。

市は既に発注していた設計業務を中止しましたが、履行部分に相当する委託料約247万円を支払う必要があったため、市は不要な予算執行を行うこととなりました。

本来であれば競争入札により事業者を選定しなければならぬにもかかわらず、令和5年度中に国の補助金を執行しなければならぬという時間的な制約があったとして、新クリーンセンター施設整備基本計画策定業務委託について特定の事業者と随意契約を締結したことなど、随意契約の在り方が公平公正の観点から問題視されました。

決算

9月定例会では、前年度の予算執行について「決算審議」を行います。議会でのチェックの結果、予算執行が適正だった場合は「認定」、適正でなかった場合は「不認定」と議決します。

決算が不認定となっても執行後の予算には影響しませんが、市長は、必要な措置を講じたときは速やかに議会に報告するとともに、公表する義務があります。

佐保小建て替え 追加予算案否決

佐保小・鼓阪小の統合時期 見直すべきとの反対意見も

市は、佐保小学校と鼓阪小学校を統合し、現在の佐保小学校に新たな校舎を建設し、令和8年4月に開校するとしています。

校舎の解体に伴う教室の移転にかかる予算2.7億円と、翌年度にかけて執行する建設費などの債務負担行為※約51億円を含む6年度当初予算が成立していますが、8月の競争入札では、入札に参加する予定だった事業者が2者とも「予定価格が安すぎる」

という理由で辞退しました。

9月定例会では、市は、既に成立している債務負担行為約51億円に物価高などを考慮した約12億円を追加し、債務負担行為の上限額を約63億円に変更する予算案を提案しました。

議員の間では、児童や保護者への影響を優先する考えや今後も続く物価高騰への懸念という共通した思いもある中で、一刻も早く着工すべきという賛成の声もありました。

しかし、この新校舎の仕様を市の標準仕様とするのかという疑義や、統合自体を遅らせるべきとの意見もあり、採決の結果、議会は約12億円の追加予算案を否決しました。

意見募集

議会だよりに対する御意見を募集しています。
下記のQRコードからお寄せください。



佐保小学校新校舎完成イメージ

※債務負担行為：将来支払うべき費用のことで、予算の内容の一部として設定されます。

質疑・一般質問の詳細については、掲載しているQRコードを読み取ることでも市議会ホームページの録画中継を視聴することができます。

9月11日・12日・13日の本会議では、28人の議員（うち代表質問6人）が質疑・一般質問を行いました。

（発言順）



問 加齢に伴う聞こえの衰えは、外出をしなくなるなど高齢者の健康や生活に影響を与えている。聞こえを補う補聴器は大変高額なため、繰り返し本市独自の助成制度の創設を求めてきたが、市長は国が制度化すべきとの考えを示しており、その間に他の自治体では独自の施策が進められている。本市においても加齢性難聴者への補聴器購入助成制度について、改めて検討してほしいと思うがどうか。

高齢者の補聴器購入助成
実施に向けた市の考えは
日本共産党

山口 裕司



代表質問

市長 補聴器は、加齢性難聴者の聞こえを補い、生活支援及び社会参加の促進につながるものと認識している。他自治体において購入助成の制度が実施されていることも承知している。本市としても具体的に実施に向けて検討したい。

一方で、地域ごとに制度に格差があるのも望ましくないため、引き続き国に要望も行っていきたい。



〈他の質問項目〉

- ・大阪・関西万博について
- ・新クリーンセンター建設
- ・防災行政について

新ごみ処理施設設計案の
高額な整備費用への認識は
公明党

宮池 明



問 新クリーンセンター施設整備基本計画案で示されている概算事業費450億円を一日の想定ごみ処理量290トで割ると、1ト当たり約1億5500万円の建設コストがかかっているが、これには運営経費や土地取得費、測量・地質調査費、地盤改良費や道路等の付帯整備費は入っていない。



基本計画案におけるイメージ図

私の調査では他の自治体で建設中の新施設では1ト当たり約1億円のコストの試算で、本市と比較すると約5500万円安い。財政難の本市において、このような高額の整備費をどのように認識しているのか。

真銅副市長 計画案で示した金額は、コンサルタントを通してメーカーにヒアリングした金額を参考に記載している。昨今の建設工事の資材価格高騰、労務単価の上昇を踏まえ、複数のメーカーからの回答の平均で見積もっており、メーカー側からはより安全側で費用を見込んでいると確認した。



〈他の質問項目〉

- ・公民館が所蔵している図書を図書館や学校図書などの

市の図書行政の一環にする
ことの有益性について

大和西大寺駅北ロータリー
東側の市有地活用は
自民党 無所属の会

榎本 博一



問 近鉄大和西大寺駅北ロータリー東側の市有地の活用に当たり、本社・支社または研究機関等の拠点を建設する事業者を募集されているが、事業者選定において重視する点や近隣への配慮をどう考えているのか。



大和西大寺駅の市有地活用予定地

市長 まず、県外からの本社移転や支社設置など、新規の雇用を生み出し、税収増や市全体の経済の好循環につながるかどうか、また、まちのにぎわいに資するかどうか、産

官学連携拠点との相乗効果が発揮できるかという3点を重視したい。あわせて、地域の方との連携や地域活動との協働など、新しい事業展開が地域にとって好影響を与えるかどうかとも評価したい。民間の開発になるが、建設に当たったの周辺環境に与える影響については、地域の方々と協力し合い、十分に理解を得ながら事業が進められるよう、市としても最大限配慮していく。



〈他の質問項目〉

- ・新クリーンセンター建設
- ・高の原駅前広場整備
- ・ひとり親支援（フードバンク事業）

1億6000万円の 高額な予算流用の理由は 自由民主党

山本 憲宥



問 本庁舎ZEB化改修工事に伴う基本設計・実施設計業務委託の一般競争入札の公告日は令和6年2月15日で、3月定例会の議案内示よりも早い日程であったことから、補正予算対応も含め、丁寧に事業を進めるための時間は十分

にあったはずだが、なぜ議会に説明・報告もなく、約1億6000万円もの高額な予算を流用により措置したのか。

市長 事業者からの助言で急きょ市庁舎ZEB化可能性診断調査を実施することとなり、令和5年12月28日に調査が完了した。本庁舎ZEB化に向けた基本・実施設計費として既に国の交付金の交付決定を受けていたため、年度内に事業契約を締結する必要がある、遅くとも令和6年2月15日には入札の公告を行う必要があった。調査結果から、基本・実施設計に1億7000万円余りが必要であり、予算が不足することが判明したが、3月定例会での補正による予算措置では時間的に事業者との契約は難しいと判断し、予算流用により不足する予算額を補い事業を進めることとなった。



〈他の質問項目〉

- ・大和西大寺駅北側市有地有効活用事業について
- ・公共交通問題について
- ・上下水道事業の経営戦略

本庁舎ZEB化改修工事 早期に事業やめるべきでは 新世の会

内藤 智司



問 本庁舎は令和3年度に35億円をかけて耐震化工事を終

えたところであり、更に20億円をかけてZEB化改修工事を行う必要は全くない。また、その設計委託料は、5年度に不足分の約1億6000万円を他の事業から予算流用した上、調査委託費と名を変え、5年度分の国庫交付金5000万円を充てて既に執行されており、議会の議決がないがしろにされていると感じる。

6年8月6日には庁舎ZEB化の基本設計・実施設計の中止及び改修工事計画の予算措置に反対する申し入れを行っている。今後ZEB化改修工事費の予算が提案されても、否決されれば設計にかかった費用も無駄になる。実施中の設計を早期にやめたほうがよいと考えるが、市長の見解は。
市長 地球温暖化対策として脱炭素化に誰もが自分事として取り組むことが重要と認識している。本庁舎をZEB化することは、行政が率先して取り組んでいくという意味で

重要な施策である。現在実施中の基本設計業務が9月末には仕上がる予定であり、そこで改修工事の詳細やその費用、光熱水費の削減額等が明らかになる見込みであることから、その結果を精査、検討した上で、今後の方向性を示したい。



〈他の質問項目〉

- ・めぐるNARRA2027
- ・柔軟な働き方について
- ・今後の教育に対する新しい学校校舎について

学校給食費の価格高騰分 公費負担を継続できるのか

日本維新の会

山岡 稔季



問 議会からの予算増額の要望により、学校給食が文科省

の定める学校給食摂取基準を満たすよう改善されたのは子どもたちにとって喜ばしいことだが、学校給食費が改定となったことで、市が負担しないと令和6年度以降は保護者負担が月に1000円程度増えることになる。給食費を無償化する自治体も全国的に増えている現状で、保護者にとって給食費の値上げは到底受

け入れられない。6月定例会では市長も給食費無償化への姿勢を示されたが、6年度の方針をお示しいただきたい。また、保護者の負担が今より増えることはないよう対応するのかどうか、改めて意思表明をお願いしたい。

市長 無償化の議論も他の自治体で活発に行われている。一方で、公費による追加支援をし、給食の自身の充実に充てるという方法もある。国や県の動向も注視しながら、無償化も含め、どの程度公費で負担していくかしっかり検討したい。また、6年度については、本来であれば食料費は保護者の皆様に負担いただくところだが、物価高の状況もある中で、少なくとも現状以上に負担を増やすことは考えていない。



〈他の質問項目〉

- ・路上喫煙禁止地域の拡大
- ・新クリーンセンター建設
- ・ハラスメント条例の制定
- ・選択理論と目標達成力育成

日本共産党

白川健太郎

○指定避難所について、地震などの突発的な災害に備え、全避難所を開設するに当たり必要な物資を備蓄すべきと考えるが、市長の見解は



新世の会

鍵田美智子

○佐保小学校校舎建設工事の入札不調と工事費が高くなった要因、工事の規模縮小の可否について
○教育環境の整備を遅らせることに對する教育長の考えについて



公明党

田畑日佐恵

○認知症施策について
○産後ケア事業について
○救急体制における搬送時のマイナ保険証の活用と119番映像通信システムについて



公明党

九里 雄二

○クリーンセンター建設に係る環境行政
○大和西大寺駅南側の植樹升の活用は
○県総合医療センター跡地のまちづくり
○道路交通法改正による自転車の扱いの変更について市民への周知を



日本維新の会

大西 淳文

○シルバー人材センターで行われている炎天下での除草等の作業中に熱中症となられた方が複数人おられると聞いたが、熱中症対策について、市としてどのように考えているのか



自民党・無所属の会

岡田 浩徳

○新クリーンセンター建設でごみ処理がどう変わるのか、また、リサイクルセンターの意義について
○ひとり親世帯へのサポート、特に就業支援について



無所属

下村 千恵

○学校給食費無償化の教育的意義と必要性について
○市役所窓口の開庁時間について



自由民主党

道端 孝治

○指定取消処分を受けた福祉事業所が不正受給した補助金は計1億1345万円だが、事業者からは全額返還される見込みがない。なぜここまで受給額が増えたのか、監査体制の問題は



自由民主党

八尾 俊宏

○コロナワクチン接種に関する業務委託料返還金について、返還を切り出したのは市かJTBか、何に對しての返還金であるか、JTBに罰則は科したのか、罰則規定の見直しはしないのか



日本共産党

北村 拓哉

○佐保小学校校舎建設事業について、約63億円に増額する債務負担行為による工事以外の先行工事や、令和8年度当初予算のバンビーホームやプール建設費を含めた総合計の費用見込額は



新世の会

樋口清二郎

○病児・病後児保育施設の利用率が低い状況である。より利用しやすいように手続きの簡素化や、利便性の改善など充実を図るべきではないか



日本維新の会

柳田 昌孝

- 今後の、ふれあい会館の設置について
- 小1の壁と呼ばれる、小学校始業時間前の子どもの預かりについて
- 教職員のゆとりや働き方改革について
- アダプトプログラム推進事業について



無所属

山出 哲史

- 大規模災害への備えには、被災者への生活再建支援の仕組みづくり(災害ケースマネジメント)が重要である。仕組みに欠かせないソーシャルワーカーとの関係づくりを平時から進めてほしい



日本共産党

榎井 隆志

- 環境清美工場の大規模改修工事における前回の工事の瑕疵への対応と専門家による第三者評価の内容について
- あやめ池駅南口の周辺道路の安全対策について



公明党

伊藤 剛

- 道の駅「クロスウェイなかもち」のオープンに伴う市と県の連携について
- クラウド型被災者支援システムの導入について
- 避難行動要支援者名簿の実態



新世の会

阪本美知子

- 奈良市清美公社や外郭3団体に對して、経営基盤の安定化を図るために市としてどう対応するのか
- 行財政改革には労働者福祉の観点が必要だという考えに對する市の見解



日本維新の会

佐野 和則

- 食と農の連携に関して、学校給食の地産地消及び新たな流通経路の確立と仕組みづくりの必要性、子どもたちに安全で安心な給食を安定して提供する体制を整えてほしいという要望について



無所属

岡本 誠至

- 鴻ノ池運動公園における防災機能の強化について
- 高の原エリアでの新たな子育て広場遊び場の設置におけるワークスペースの整備について



日本共産党

井上 昌弘

- 国民健康保険が県単位化されたが、本市の独自施策である一般会計からの2億円繰り入れ、申請による保険料減免制度等は後退したのではないかと、子どもの均等割は廃止すべきではないかと



無所属

酒井 孝江

- 米が高く、食料安全保障ができていない。政府備蓄米を活用し、事実上の減反政策をやめ、国民の主食を確保し、米を輸出して世界に貢献する食糧戦略に全力を挙げるべきではないか



無所属

松石 聖一

- 公共交通条例の制定に向けた状況
- 今後の公共交通利用促進の取り組み
- 子どもセンター内のじいさへのアクセスについて
- 带状疱疹ワクチン接種費用助成の状況



行財政改革及び公共施設等 検討特別委員会

この定例会では、令和6年度一般会計補正予算(第4号)等の議案3件を行財政改革及び公共施設等検討特別委員会に付託しました。委員会は9月13日に資料を要求し、委員会に付託された議案3件を25日に慎重に審査しました。

補正予算については、否決すべきものと決し、外2件については、原案どおり可決すべきものと決しました。

予算決算委員会

この定例会では、人事案件を除く令和5年度一般会計決算等の29件を予算決算委員会へ付託しました。

委員会は、9月13日に資料を要求し、19日・20日・24日に5つの分科会で審査を行い、26日に各分科会委員長の報告を受け、総括質疑を行いました。

総括質疑の後、委員より6年度一般会計補正予算（第3号）に対して修正案2件が提出され、採決の結果、これら2件のうち1件については可決すべきものと決しました。

また、5年度一般会計決算については不認定とすべきものとは決しました。

外27件はいずれも原案どおり認定、可決または同意すべきものと決定しました。

各分科会での主な質疑項目、意見は次のとおりです。

ここでは、質疑のあった項目、意見のみ記載します。詳しくは市議会ホームページの録画中継等でご確認ください。

○総務分科会

●財政調整基金の現状と今後

●職員の定年前退職への認識と今後の職員採用

●6号随契の随意契約はガイドラインに準じているのか

●防災対策施設整備事業の内容と補正予算の調製

●鴻ノ池運動公園シャワールの排水管の耐震化整備

●自衛隊の野外入浴セットによる災害時シャワーの代替

●給与条例改正の目的と必要な予算措置

●人材育成ビジョンの作成の経緯と今後の人材育成

●災害時に速やかに罹災証明書を発行するための対策

●災害関連死を防ぐための平時からの対策

○観光文教分科会

●学校体育館などへの空調設備の状況

●学校給食無償化の検討状況

●観光客誘致対策の効果、検討時期と補正予算の理由

●人・農地問題解決推進経費の事業概要と不用額の要因

●子育て広場遊び場ワークスペースを設置する目的

●観光案内システム導入の経緯と今後の考え

●小・中学校施設整備事業の十分な予算確保の必要性
●林道の果たす役割を踏まえ
た持続可能な森林整備

●観光客誘致対策の詳細と事業者選定

●スクール・サポート・スタッフの配置と活動状況

●水泳指導委託の成果と課題を踏まえた今後の在り方

●部活動指導員派遣事業の効果検証と今後の活用方法

○厚生消防分科会

●市立保育施設の職員の働き方の改善

●手話通訳者派遣制度の改善

●高の原子育て広場遊び場ワークスペースは木津川市と合意の上進めるべきではないか

●市立病院に日勤・夜勤専属看護師を採用しないのか

●高の原の子育て広場遊び場ワークスペースの位置づけ

●若者サポートセンターリスならの相談員への研修

●高の原子育て広場遊び場ワークスペースの設置をやめる気はないのか

●市民以外も利用できる施設を増やすことへの市民理解

●一時避難の滞在场所における相談相手の存在の有無

●高の原子育て広場遊び場ワークスペースの利便性への市の理解

●ケースワーカーの担当件数の是正

●国保条例改正の必要性

●市立保育施設の維持補修費内訳と計画的な維持補修

●支援が必要な妊婦の把握方法と日常的な相談窓口

○市民環境分科会

●スポーツ施設整備事業の補正予算の計上理由及び不用額の内訳と理由

●新クリーンセンター施設整備基本計画案における七条地区限定の項目と経費

●地域自治協議会に関する令和5年度の総括と展望

●学校体育施設開放事業とスポーツ施設整備事業の予算の繰り越し理由

●新斎苑事業に係る地域活性化対策事業の進ちょく

●持続可能な地域社会構築業務委託の決算状況

●（仮称）飛鳥ふれあい会館建設撤回による不要な支出

●国の補助金充当目的の予算流用や配当替え

●なら100年会館深井戸ポンプ改修による災害時利用

●鴻ノ池補助競技場の稼働率向上に向けた日よけ対策

●コンビニ交付手数料10円の取り組みによる成果

●ペットボトル圧縮機購入の必要性和緊急性

●自衛官募集事務を請け負う

●奈良市ポイント制度の現状

●建設企業分科会
●空き家対策における第5次総合計画の目標値と実績値の乖離

●水道料金の今後の見通し

●老朽配水管改良事業計画と鉛給水管布設替実施計画の進ちょく及び今後の計画

●上下水道施設や管路の老朽化に直面する中での企業局としての未来戦略

●バリアフリー基本構想の進ちょく

●各分野別のバリアフリー基本構想の進ちょく

●新設・継続・無届の屋外広告物への対応

●市営JR奈良駅第1・第2駐車場の利用台数と定期利用の今後の方針

●鶴舞橋の修繕工事委託契約

●道路管理瑕疵による高額損害賠償案件

●西大寺一条線「ほこみち」の活用実績

●西大寺東線街路整備事業の進ちょく

●高の原橋の長寿命化修繕工事の進ちょく

●交通安全施設整備単独事業の事業内容と執行状況

議案等の議決結果とその賛否（9月定例会）

○：賛成　×：反対

件名		議決結果	会派名（一部略称）							無所属					
			公明党	日本共産党	無所属の会・	自由民主党	新世の会	日本維新の会	山出哲史	岡本誠至	下村千恵	松石聖一	酒井孝江	中西吉日出	
◆議案															
決算	令和5年度一般会計歳入歳出決算	不認定	×	×	○	×	※1	×	×	○	○	○	○	○	×
	〃 住宅新築資金等貸付金特別会計歳入歳出決算	認定	全会一致												
	〃 国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	〃 土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算	認定	全会一致												
	〃 介護保険特別会計歳入歳出決算	認定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	〃 母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計歳入歳出決算	認定	全会一致												
	〃 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	〃 病院事業会計決算	認定	全会一致												
	〃 水道事業会計決算	認定	全会一致												
予算	〃 下水道事業会計決算	認定	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度一般会計補正予算（第3号）（修正部分を除く原案）	可決	全会一致												
	〃 一般会計補正予算（第3号）（委員会による修正部分）	可決	○	×	×	○	※2	○	○	○	○	×	×	○	○
	〃 国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	全会一致												
	〃 介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	全会一致												
条例	〃 一般会計補正予算（第4号）	否決	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	×	×	×
	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	可決	全会一致												
	職員の退職手当に関する条例の一部改正	可決	全会一致												
	市立保育所設置条例及び市立学校設置条例の一部改正	可決	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険条例の一部改正	可決	○	×	○	○	※3	○	○	○	○	○	○	○	○
	音声館条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	体育施設条例の一部改正	可決	全会一致												
	コミュニティスポーツ施設条例の一部改正	可決	全会一致												
	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	可決	全会一致												
	火災予防条例の一部改正	可決	全会一致												
その他	令和5年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決	全会一致												
	財産の取得（防災服一式）	同意	全会一致												
	財産の取得（埋立作業用バックホウ）	同意	全会一致												
	財産の取得（消防ポンプ自動車）	同意	全会一致												
	財産の取得（消防ポンプ自動車）	同意	全会一致												
	財産の取得（救急自動車2台）	同意	全会一致												
	委託契約の締結（市道登美ヶ丘中町線鶴舞橋耐震補強工事）	同意	全会一致												
	和解及び損害賠償の額の決定	可決	全会一致												
	奈良県後期高齢者医療広域連合規約の変更	可決	○	×	○	○	※3	○	○	○	○	○	○	○	○
人事案件	人権擁護委員の候補者の推薦（石巻 昌孝氏）	同意	全会一致												
	人権擁護委員の候補者の推薦（宮本眞樹子氏）	同意	全会一致												
	人権擁護委員の候補者の推薦（小川富士子氏）	同意	全会一致												
◆議会議案															
議会会議規則の一部改正		可決	全会一致												
◆動議															
災害発生時における信頼性の高い情報連携体制構築への支援を求める意見書		可決	全会一致												
聴覚補助機器等の積極的な活用を促進する取組を求める意見書		可決	全会一致												

注：議長は採決に加わりません。 ※1 賛成1 反対3 ※2 賛成2 反対2 ※3 賛成3 反対1

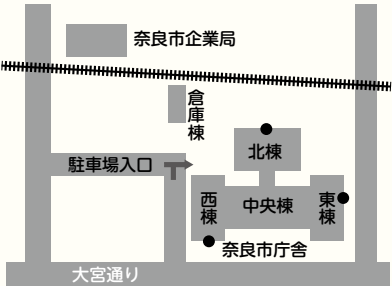
（会派所属議員名）令和6年9月30日現在

会派名	議員数	所属議員名											
公明党奈良市議会議員団	6	宮池 明	早田 哲朗	田畑日佐恵	九里 雄二	伊藤 剛	森岡 弘之						
日本共産党奈良市議会議員団	6	山口 裕司	梶井 隆志	白川健太郎	山本 直子	井上 昌弘	北村 拓哉						
自 民 党 ・ 無 所 属 の 会	6	横井 雄一	塚本 勝	榎本 博一	岡田 浩徳	土田 敏朗	北 良晃						
自 由 民 主 党	5	森田 一成	道端 孝治	太田 晃司	八尾 俊宏	山本 憲有							
新 世 の 会	4	内藤 智司	樋口清二郎	鍵田美智子	阪本美知子								
日本維新の会奈良市議団	4	大西 淳文	山岡 稔季	佐野 和則	柳田 昌孝								

第12回議会報告会

【日 時】 令和6年11月15日（金）18時～20時
【場 所】 市役所西棟（議会棟）3階
【定 員】 60名程度
【内 容】 第1部 グループワーク
第2部 発表
【締め切り】 令和6年11月8日（金）

報告会の詳細やお申込み方法は、
右のQRコードからご確認ください。



ご参加お待ちしております。